

組合の楽しい便り投稿歓迎します。

ラベルニュース

No472



令和 7 年 4 月号

東京都ラベル印刷協同組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

編集:広報・情報システム化委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

昭和レーベル印刷工業・プラスチック・丸信 災害発生時の早期復旧などで協力体制

当組合員の昭和レーベリ、また、シール印刷業界ル印刷工業株式会社（札幌市西区）、プラスチック工業株式会社（札幌市手稲区）、同組合が平成二十五年に株式会社丸信（福岡県久留米市）の三社は、このほど策定・申請した「連携事業継続力強化計画」が九州経済産業局より認定されたことを明らかにしました。

北海道と福岡の事業者が連携するのは全国初とな

り、また、シール印刷業界では組合同士の連携は、当組合と北海道シール印刷協同組合が平成二十五年に「緊急時相互委託生産協定」を締結、その後九州シール印刷協同組合とも締結した例があるが、事業者同士の連携も今回の両社が初のケースとなります。

昭和レーベル印刷工業およびプラスチック工業が本社を構える北海道地域は、今後三〇年以内に大地震が発生すると言われており、一方、丸信の本社がある福岡県は、台風や集中豪雨などによる水害が多いエリアとなっています。

こうした自然災害発生時に、従業員とその家族の安全確保や、事業の早期復旧などを目的に三社で協力体制を築くこととなります。

具体的には、自然災害発生時に従業員や顧客などの避難・安否確認の手順をあらかじめ取り決めて、マニュアル化した冊子等を配

布するなど周知を行います。また、被害状況の把握と被害情報の共有を行う手順や、要請に応じて復旧等に必要ない他社の設備や機器類の利用について協議する（BCP計画）ことなどを盛り込んでいます。

今回認定された計画内容については、今後必要に応じて見直しを行い、連携三社において災害時の危機対応力を高めることで、万が一の発災時でも事業が継続できる協力体制を強化していくとしています。

■「事業継続力強化計画」とは

主に中小企業や小規模企業向けの防災・減災の事前対策計画です。巨大地震や集中豪雨などの自然災害に加え、新型コロナウイルスなどの感染症にも対応しており、万一の災害時の危機対応力を高めるほか、自社の経営資源に対するさまざまなリスクを抽出し対策を検討することで、経営課題の発見や平時の経営改善にもつながります。また、事業継続力強化計画の認定

を受けた企業は、「補助金（ものづくり補助金など）の優先採択」や「低利融資」などさまざまなメリットがあります。「事業継続力強化計画」には、一社で認定される単独版と、複数企業で認定される連携版があります。

昭和レーベル印刷工業と プラスチック工業が合併

昭和レーベル印刷工業（株）と、プラスチック工業（株）は、四月一日付で合併し、新会社「昭レPLUS（株）」として発足しました。

プラスチック工業は主に食品トレー製造会社で、平成十八年に昭和レーベル印刷工業に経営権を委譲。

今回の合併について遠藤新社長は「お客様にワンストップで製品を提供することが出来るメーカーとなる第一歩として今回の合併を位置付けています。今後事業領域の拡大によりお客様に対して更なるサービスの向上を目指しております」と語っています。

丸信の平木洋二社長（中）昭和レーベルの遠藤隆司専務（左）、大澤雅純専務（右）



セミナー・合同支部会開催 「職場の危機管理」について学ぶ



「職場の危機管理」について勉強会

恒例の合同支部会は三月十二日(水)午後四時半より台東区上野の「ブルースペース上野駅前」において開催され、セミナーとして「職場の危機管理 あなたの知らない警察の世界」と題して、元警視庁警察官の方(楽天グループリスク管理部)を講師に、職場や家庭など身近で起こりうる犯罪に対する危機管理などについて勉強しました。

セミナーでは普段あまりなじみのない「警察」に関する基礎的な知識、一一〇番に電話するとどうなるの、昨今の警察事情、最近流行りのオレオレ詐欺やサイバー犯罪などについて、元警察官らしく実際にあった経験なども交えながら話をしました。

また当日は講師の海老谷成臣氏と林秀人氏が共同執筆した「会社や社員が犯罪に巻き込まれたらどうする?」と題した本が全員に配布されました。

セミナー終了後は、「鳥元上野昭和通り口店」に於いて懇親会が開かれ、最近の業界の現状について参加者がそれぞれ意見交換を行いました。

「一昨年から原材料の値上げなどで、厳しい状態が続いており、先が見えない」という声が多く、価格交渉も非常に厳しい状況でガソリンや生活物資なども値上がり、歯止めがかからず、先行きに不安しかないなどといった意見が出される。

この度、環境省の定める「国等による環境物品等

グリーン購入法基本方針 4月1日より改正 GP 認定制度などを 「基準値 1」に明

三

一般社団法人日本印刷産業連合会(東京都中央区新富一、十六、八、会長・鷹 秀晴)は、環境に配慮した印刷工場・事業所、印刷製品、印刷用資機材を認定する制度として、グリーンプリンティング(GP)認定制度を運営しています。

この度、環境省の定める「国等による環境物品等

の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(以下「基本方針」という。)が見直され、より高い環境性能を示す「基準値1※」の要件にグリーンプリンティング認定制度が明記されました。

また、併せて全日本印刷工業組合連合会及び東京都印刷工業組合が運営する「環境推進工場認定制度」も要件となっています。

※「基準値1」…判断の基準において2段階の判断の基準を設定している場合に、当該品目におけるより高い環境性能の基準であり、調達に際しての支障や供給上の制約等がない限り調達を推進していく基準として示すもの。

「基準値2」…判断の基準において2段階の判断の基準を設定している場合に、各機関において調達を行う最低限の基準として示すもの。

この改正法は四月一日より施行される。

寄稿 No1

「百年企業目指し、日々努力を」

(株)旭ネームプレート製作所

専務取締役 保坂 知彦



今月からラベルニュー
ス紙面刷新の一環として、
毎号組合理事に原稿執筆を
依頼されたため、今回トッ
プバッターとして私が原稿
を書かせて頂くことになり
ました。

私の人生、ゴルフの師
匠でもあります？大澤雅純
副理事長を差し置いて、栄

えある第一回目に担当させ
て頂くのが心苦しいのです
が、本間専務理事の命令で
もありませんので今回筆を
取らせていただきました。

まずは当社の紹介から
させて頂きます。今年三月
で創立八十一年目を迎えま
した。当社は通信機、電算
機、車両、一般民生用の銘
板、ラベルの専門メーカー
として八十年余りの経験と
信用を頂いておりここまで
継続しております。

しかし近年の材料など
の価格高騰により、他社さ
んとの価格競争も当然あり
今後厳しくなる事が一層身
に染みております。

当社の目標は百年企業
であります。その為には
まず八十五年目、九十年目
ではなく一日一日を継続し
て行く事が大事だと思っ
ています。その中で今いる従
業員の方々の力が必要不可
欠であることは言うまでも
ありません。その従業員の
御家族に去年新しい家族が
誕生しました。

また今年も従業員の方
に新しい命が授かり、五月
に生まれて来るお子さんも

おりますので、会社として
も本当に喜ばしい事と共に、
より一層、従業員の御家族
も守って行かなくてはいい
ないと使命感が一段と強く
なりました。

最後に小生の趣味を少
しお話しさせて頂きます。
元々はスポーツをやるのも
観るのも好きですが、その
中でもサッカー経験は無く
社内でのフットサル部、今
は休部状態ですが、それぐ
らいですが、特にそのサッ
カーが好きで、小学校時代
から日産サッカー部、現横
浜Fマリノスが好きで応援
しております。

そのマリノスの年間チ
ケットを家族で購入して応
援しておりますが、日産ス
タジアムも当社から近く、
平日のナイター観戦時は自
転車で一〇分程度の距離な
ので良く足を運んでいます。
最近の悩みは子供達のマ
リノス離れです、色々と
習い事もありますので一緒
に観戦出来ません。実は横
浜ベイスターズも応援して
おりますが、そのお話は次
回でまたよろしく願いま
します。

情報連絡員報告会を

東京都中央会が開催

東京都中小企業団体中
央会は、三月十二日に「情
報連絡員報告会」を開催し、
令和六年度下期の概況報告
を行いました。

それによると令和六年
度下期の概況は「売上高」
「収益状況」「業界の景
況」では製造業はマイナス
三〇台、非製造業マイナス
一〇台と厳しい経営状況が
続いていることが明らかに
なっている。

情報連絡員の具体的な
報告からは、業種を問わず
原材料費やエネルギー費の
高騰に対して十分な価格転
嫁ができず収益を著しく圧
迫しているという声の他、
これまで以上に人手不足に
苦慮しているという報告も
多かった。

行政に対する要望につ
いては高騰する原材料費や
エネルギー費への対策のほ
か円安、人材確保に対する
支援を望む声が引き続き寄
せられていました。

不当な「買ったたき」は下請法違反です！
困った時はためらわずに公正取引委員会へ通報を

創風システム

北原良教氏が社長に

下請法（下請代金支払遅延等防止法）は、親事業者による下請事業者に対する優越的地位の濫用行為を取り締まるために制定された法律です。

例えば、下請事業者には責任がないのに、親事業者が発注後に下請代金の額を減じることが禁じられています。たとえ当事者間で賛金、値引き、歩引き等の名目で発注後に一定金額を下請代金から差し引くことで合意している場合であっても、下請法違反になります。

り止めるよう勧告されます。勧告される内容は、違反行為の取り止めのほか、下請事業者の被った不利益を原状回復すること、再発防止措置を採ることなどです。

また、勧告された場合は、企業名、違反事実の概要などが公表されます。企業の法令遵守が強く叫ばれる中、下請法違反は企業価値を大きく損なう行為です。

また、勧告された場合は、企業名、違反事実の概要などが公表されます。企業の法令遵守が強く叫ばれる中、下請法違反は企業価値を大きく損なう行為です。

■比較される「通常支払われる対価」とは何か？

① 通常支払われる対価とは、同じような取引の給付の内容（又は役務の提供）について、その下請事業者の属する取引地域において一般に支払われる対価（通常の対価）のことをいいます。

② 通常の対価の把握が困難な場合は、例えばその給付が従前の給付と同種又は類似のものである場合には、従前の給付に係る単価で計算された対価を通常支払われる対価として取り扱います。

■「買ったたきとは」
下請代金の額を決定するときに、①発注した内容と同種又は類似の給付の内容に対して通常支払われる対価に比べて著しく低い額を②不当に定めることが「買ったたき」になります。
■なぜ買ったたきはいけないのか？

親事業者が下請法に違反した場合には、公正取引委員会から、違反行為を取

親事業者が下請法に違反した場合には、公正取引委員会から、違反行為を取

創風システムは一月二十七日開催の臨時株主総会に於いて、代表取締役社長に常務取締役の北原良教氏が就任しました。
なお、前社長の近藤富士子氏は代表取締役会長に就任しました。

サトーHDが
サトーを吸収合併

サトーホールディングス(株)（小沼宏行代表取締役社長執行役員グループCEO）は、このほど(株)サトーを四月一日付で吸収合併し、社名を「株式会社サトー」に変更しました。

トッパンインフォ
メディアが社名変更

トッパンインフォメディアは、四月一日から社名を「TOPPANインフォメディア株式会社」に変更しました。

■お酒による良い効果

お酒は適量であれば、人間関係の円滑化などの社会的効用に加え、血行を促進し、精神的ストレスの発散、動脈硬化を予防するHDL コレステロールの増加などの医学的効用があります。

■お酒が引き起こす健康障害

お酒が引き起こす生活習慣病には、肝障害、膵炎、脂質異常症、高尿酸血症、高血圧症、食道がんなど様々な病気があります。

しかし、その適量がなかなか難しいのです。なぜなら人によって適量は違うからです。お酒に強い人、弱い人、様々ですから、これが適量と数値ではなかなか表せないのです。しかし、度を過ぎれば大変なことになるのです。

No213 健康がいちばん!

お酒は適量ならばよい効果も

休肝日は週に2日が理想的

ことがわかっていきます。飲酒に喫煙が加わるとがん発症のリスクが高くなります。発症率が高くなる

■アルコール依存症とは

飲酒をする量、場所、時間などを自らコントロールすることができなくなる状態をいいます。必ずしも大酒家がかかるものではなく、お酒の飲み方を誤ると誰でもかかりうる可能性があります。

アルコール依存症の兆候は？

- ① 休日の朝酒
- ② 二日酔いの迎え酒
- ③ 一日中延々と飲み続ける
- ④ 飲まないとき禁断症状（頭痛、手の震えなど）がでる
- ⑤ お酒のことで、友人や家族の仲がうまくいなくなる

■健康的に飲みましょう

日本酒換算で一日一合程度、多くても二合までにとどめましょう

これまでの調査結果をみると、平均一日二合を超える飲酒者では、様々な健康障害を引き起こしやすくなります。

ます。長期的にみると脳卒中や肝硬変を起こす率が高くなります。

適量の飲酒なら大丈夫というのは、健康障害を引き起こしていない方にあてはまることです。たとえばすでに肝臓病になっている人や肝機能が低下している方、血圧の高い方は飲酒を極力控えてはいけません。

■休刊日を設けましょう

毎日飲酒していることは、それだけ胃や肝臓に負担がかかっていることになりま。週に二日はお酒を飲まない休肝日をもうけることがおすすめです。

一般に肝臓がアルコールを処理するスピードは個人差がありますが、平均すると一合あたり約三時間と言われています。たとえば三合飲酒するとそのアルコールの処理には九時間かかり、翌朝にアルコールが残ってしまふことになりま。就寝中でも肝臓は休みなく働いていることになりま。

【参考資料】

<https://www.osaka-ganjun.jp/>

ダックエンジニアリング
(京都市南区上鳥羽大柳町一
番五 電話〇七五・六八一
・〇一三三)では、シール・
ラベル検査装置、業界トッ
プシェアの医薬品や飲料品
などに貼られたシール・ラ
ベル印刷の文字欠けや印刷
汚れなどを全面・全数検査
を発売、好評を得ている。

用途としてはシール・ラ
ベル印刷物の検査装置。
印刷機上でのオンライン検
査及び、巻取り機でのオフ
ライン検査に対応。
特長は次の通り。
① 枠設定により、剥離紙
は甘く、重要ポイントは厳
しくなどのチェックが可能。
② 高性能検査を保証す

る専用光学系で箔ラベルな
どの検査にも対応。
③ 位置補正機能(XY補
正)により搬送の蛇行、位
置ズレに対応。
④ 欠陥画像ブリンク表
示(図柄の中で欠陥部分の
み点滅表示)により欠陥位
置を素早く認識。
⑤ 欠陥画像は全て記憶
しているので、製品の品質
管理が可能。
基本仕様は次の通り。

■被検査材幅
300mm

■対象欠陥

インク飛び、ピンホール、
異物、印刷抜け、スジ状欠
陥、歯抜け、カス残り、バ
ーコード部(汚れ、欠け)
■オプション

■品質管理ソフト Gallery

■部分可変検査システム

■検版機能

■ピタッと！システム

■ピタッと！LASER

■透過照明

■オールインワン照明(カ

メラタイプのみ)

■寸法計測機能

標準機能

■品種管理機能

■位置補正機能

■重要な場所を重点検査で

きる部分枠機能

■タッチパネルによる対話

型簡単オペレーション

■検査履歴保存・閲覧・出

力

詳細はホームページで。

<https://www.dac->

eng.co.jp/

シール・ラベル印刷の文字欠けや 印刷汚れなどを全面・全数検査 「超高速巻き返し検査機」に注目が



超高速巻き返し検査機 + Prentity カメラタイプ
(YC511-LNTW V-K) (PLC401-0C)